

# 社会資本総合整備計画

## JR船橋駅周辺地区都市再生整備計画

平成28年12月22日

千葉県船橋市

# 都市再生整備計画(第4回変更)

JR船橋駅周辺地区

千葉県 船橋市

平成28年12月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	船橋市	地区名	JR船橋駅周辺地区	面積	76 ha
計画期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度				

### 目標

#### 本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の創出並びに健康で安心した生活ができる環境の整備

目標1: 駅へのアクセスを含む都心道路ネットワークの構築      目標2: 歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設整備      目標3: 保健・医療・福祉サービスの連携を推進する拠点施設等の整備

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

JR船橋駅周辺地区は、JR総武線・京成本線・東武野田線・東葉高速線の鉄道4線が乗り入れており、JR船橋駅・京成船橋駅・東武船橋駅の3駅の一日本均乗降客数は約47万人を数えるとともに、10路線34系統のバスルートをもつ、県内有数の交通ターミナルとなっている。また、地区北西部の東海神駅の1日平均乗降客数は約5,800人となっており、地区の生活拠点を形成している。駅北口においては、2つの市街地再開発事業が施行され、駅前広場の地下には563台を収容する船橋北口駐車場、その上部にはお祭り広場のあるペDESTリアンデッキが整備されている。一方、駅南口においては、再開発事業による施設建築物(FACE)が平成15年3月に完成し、これに先立ち千葉県により事業着手された京成線連続立体交差事業も、平成23年3月に完成したところである。

当該周辺地区における主要な都市施設としては、駅北口に天沼弁天池公園(面積約0.94ha)、中央保健センター、南口には中央公民館、市民文化ホール、中央図書館、勤労市民センターといった公共公益施設が点在し、完成した南口再開発ビルには、ミニ市役所としての機能を持つ「総合窓口」や「市民活動サポートセンター」といった市民生活の利便性向上を図るための施設等が設けられている他、同再開発ビル内にミニコンサートや講演会等幅広く利用可能な「文化創造館」(きららホール)が設けられ、本町通り交差点の再開発ビル(スクエア21)には「市民ギャラリー」、「茶華道センター」が設けられるなど、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られているところである。

また、駅へのアクセスや地区内外の交通の円滑な処理を図るため、3・3・7号線や3・4・11号線といった都市計画道路や、南北駅前広場(北口:面積約1.14ha、南口:面積約1.17ha)が都市計画決定されている。

なお、船橋駅周辺においては、市民と協働によるまち歩き等を実施しており、市民意向を反映した交通安全対策や道路等のバリアフリー化を推進する事業計画が策定されている。

この地区は、平成19年度から平成23年度まで、都市再生整備計画に基づき、まちづくりの目標を達成するよう事業が行われて来た地区であるが、事後評価の結果を受け、引き続き当該2期計画を実施する。

#### 課題

JR船橋駅周辺地区は、産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点としての整備が図られつつあるが、駅へのアクセス道路を含む都心道路ネットワークの整備や歩行者・自転車利用者が安全かつ快適に利用できる施設等の整備が必要となっている。さらに、高齢化の進行や生活習慣の変化により、医療機関受診者や救急患者の増加など、医療に対する需要が増大している。さらに、医師・看護師の不足や、診療時間外の不急不要な受診などによる医療現場の混乱が社会問題化している。こうした状況の中、安定した保健医療サービスを提供し続けるためには、保健・医療・福祉の関係機関が連携を強化しながら、地域医療・救急医療体制の充実を図る必要がある。また、当該地区内に点在する公共施設への案内表示、及び公園整備が十分とは言えない状況である。以上述べた各種事業を効率的に推進することにより、本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地を創出し、健康で安心した生活ができる環境を整備するとともに、当該地区の特性を活かした個性豊かで親しみのあるまちづくりを図っていくことが必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

●平成12年3月、「生き生きとしたふれあいの都市・ふなばし」をまちづくりの目標とした『船橋市総合計画』を策定し、当該地区は「産業・文化・情報等の都市機能が多様に集積する交流拠点として、賑わいのある中心地区としての整備を図る。」こととしている。

●平成13年2月、『船橋市都市計画マスタープラン』を策定し、当該地区は「広域的な商業機能などの集積を高め、個性豊かな商業地としての形成を図るとともに、中心市街地の再構築を図り、にぎわいと活気にあふれた船橋の玄関口を目指す。」こととしている。

●平成23年5月、後期基本計画を策定し、平成23年度までの成果を踏まえつつ「生き生きとしたふれあいの都市ふなばし」の実現のため、平成24年度からの基本的な方向と体系的な施策内容を明らかにした。

●平成19年10月、「船橋市緑の基本計画改定版」を策定し、当該地区は「子供だけでなくお年寄りも楽しめる個性とつながりのある公園づくりを進める」こととしている。

●平成27年8月、「公共サインガイドライン」を策定し、「船橋市の良好な景観形成を目的とした景観計画に基づくユニバーサルデザインを取り入れた公共サインを整備する。」こととしている。

●船橋市都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」では、集約都市構造に関する方針として、住宅地や商業地、工業地の多彩な土地利用が交流し、調和のとれたまちを目指すとともに、都市活動の中心となる駅周辺に、商業・業務、医療・福祉等の都市機能が充実した便利で快適な拠点づくりを行い、それぞれの拠点の特性を活かした個性豊かで親しみのあるまちを目指すことでコンパクトシティの推進を図ることとしている。

◎都心道路ネットワークの構築 …都市計画道路の整備等      ◎安全・快適な歩行空間等の整備 …南口デッキ、歩道、公園、公共サイン等の整備      ◎保健・医療・福祉サービスの拠点となる複合施設の整備…(仮称)保健福祉センター

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
4駅定期外乗客数	人/日	4駅(JR船橋駅、京成船橋駅、東武船橋駅、東葉東海神駅)の定期外乗客数(=来街者数) 【指標:4駅の合計値】	安全・快適な歩行空間等の整備や第1期計画により整備された施設等との相乗効果で、来街者を増加させ、にぎわいと活気にあふれた中心市街地を創出する。	83,122	平成22年度	86,000	平成28年度
交通渋滞の緩和	混雑度	地区周辺の国・県道等主要幹線道路の混雑度 【指標:3路線の平均混雑度】	都心道路ネットワークの構築により、地区周辺における主要幹線道路(国道14号線、船橋・我孫子線、夏見・小室線)の混雑度を低減させる。	1.62	平成22年度	1.25	平成28年度
放置自転車台数	台/日	駅周辺部における放置自転車台数	自転車等駐車場の設置により放置自転車数を減少させると共に駅周辺部におけるバリア(放置自転車等)を減少させる。	814	平成22年度	350	平成28年度
保健・医療・福祉サービス拠点事業の満足度	4段階評価	(仮称)保健福祉センターに入居する7施設のサービスに対する施設利用者の満足度	多様な保健・医療・福祉機能を併せた拠点施設を中心市街地近接地に設置することにより、市民の認知及び利用の向上を図るとともに、保健・医療・福祉サービスの拠点として連携を推進し、市民の健康づくり意識の向上を図る。	2.89	平成24年度	3.05	平成28年度

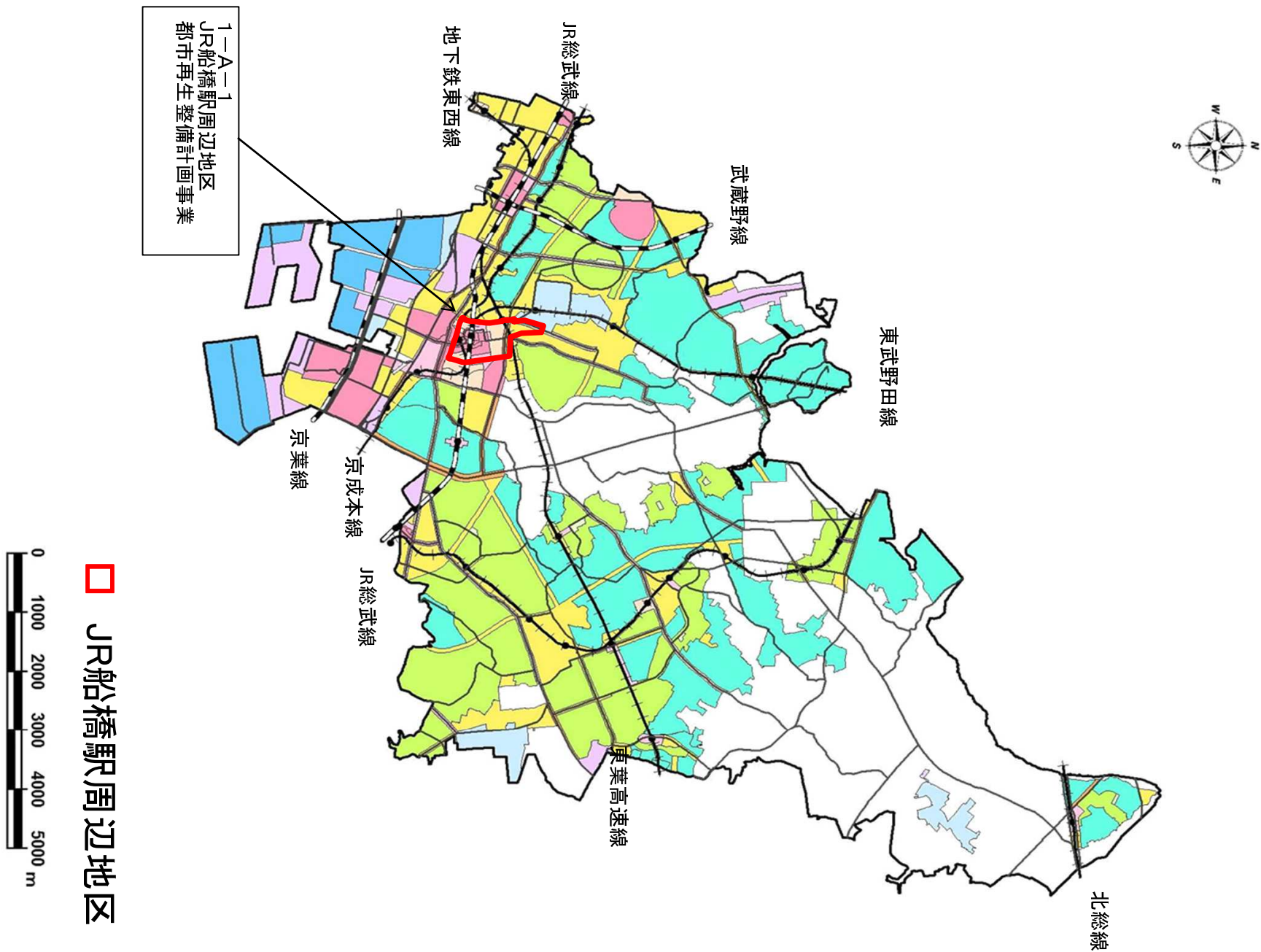
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針1</p> <p>・駅へアクセスする都市計画道路や駅周辺を南北に縦断する都市計画道路の整備による都心道路ネットワークの構築、駅周辺の駐車場の利用を促進する満空表示板の設置により、主要幹線道路の交通渋滞の緩和を図る。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業：3・3・7号線整備事業、3・3・7号線他1線整備事業、3・4・11号線整備事業</p> <p>地域生活基盤施設：本町駐車場満空表示板</p>
<p>・整備方針2</p> <p>・駅への接続デッキや駅へアクセスする歩道等を整備することにより、歩行者や自転車利用者の安全性や快適性を高める。</p> <p>・公園や公共サインの整備を行い、地域住民の快適性を高め、来街者等を主要施設へ誘導することで、利便性の向上を図る。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>道路事業：3・3・7号線整備事業、3・3・7号線他1線整備事業、3・4・11号線整備事業</p> <p>公園事業：(仮称)本町1丁目公園</p> <p>地域生活基盤施設：京成本線高架下・跡地自転車等駐車場設置事業</p> <p style="padding-left: 40px;">JR船橋駅南口ペDESTリアンデッキ整備事業</p> <p style="padding-left: 40px;">公共サイン整備事業</p> <p>高質空間形成施設：JR船橋駅北口エレベーター設置事業</p> <p>【関連事業】</p> <p>JR船橋駅南口ペDESTリアンデッキ整備事業</p>
<p>・整備方針3</p> <p>・自転車等駐車場を整備し歩道部等に放置された自転車等を減少させ快適な歩行空間を確保する。</p>	<p>【基幹事業】</p> <p>地域生活基盤施設：京成本線高架下・跡地自転車等駐車場設置事業</p>
<p>・整備方針4</p> <p>・保健・医療・福祉サービスの連携を推進する拠点を整備することにより、日々の安全な生活を支える仕組みや体制の充実を図る。</p>	<p>【提案事業】</p> <p>地域創造支援事業：(仮称)保健福祉センター整備事業</p>
<p>その他</p>	



(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 JR船橋駅周辺地区都市再生整備計画	交付対象	船橋市
計画の期間	平成24年度～平成28年度(5年間)		



# JR船橋駅周辺地区(千葉県船橋市) 整備方針概要図

目標	本市の玄関口に相応しいにぎわいと活気にあふれた中心市街地の創出並びに健康で安心した生活ができる環境の整備	代表的な指標	4駅定期外乗客数 (人/日)	83,122 (H22年度) → 86,000 (H28年度)
			交通渋滞の緩和 (混雑度)	1.62 (H22年度) → 1.25 (H28年度)
			放置自転車台数 (台/日)	814 (H22年度) → 350 (H28年度)

